

## 平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	5-2-2	事業名	「健康さっぽろ21」推進事業				
担当	保健福祉局保健所健康企画課 馬場		622-5151				
全体計画							
事業内容	札幌市健康づくり基本計画「健康さっぽろ21」を推進し、市民の主体的・継続的な健康づくりを支援するため、市民のライフスタイルやニーズに対応した情報の提供や、関係機関・地域・職域などの協働・連携を進め、市民の健康づくりを支援する環境づくりを進めていく。 平成19年度は同計画の進捗状況について中間評価を実施した。 中間評価では、「計画当初に掲げた健康課題の解決に向けた一層の取組が必要」とされたことから、後半の計画の推進に向けた重要方針を定めるとともに、健康づくりを取り巻く社会の動向や他の関連計画との整合性を図るため目標の追加を行った。 今後、計画最終年である平成24年度に向けて、後半計画の着実な推進を図り、市民の方々が健康で生きがいを持って豊かな生活を送ることができるまちの実現を目指していく。			<年度別の事業内容>			
				平成19年度 ・平成15年度にスタートした計画に基づき、家庭や学校、地域、関係機関、行政などが連携協同し市民の健康づくりを支援 ・「健康さっぽろ21」の中間評価 ・後半の計画の推進に向けた重要方針策定 ・目標の追加  平成20～22年度 ・中間評価により策定した重要方針「母子保健の推進」「生活習慣の改善」「健康づくりを支える環境づくり」に基づき後半計画を着実に推進			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	啓発関係 98千円 ・市民健康宣言、ここから健康づくり応援団募集チラシ 1,000枚 「健康さっぽろ21」進捗状況の分析検証及び編集・製本業務 3,582千円 ・概要版 50,000枚 ・本書 2,000冊 「健康さっぽろ21」ホームページの充実 1,302千円 その他経費 325千円 計 5,307千円			啓発関係 475千円 ・パンフレット 2,000枚 ・チラシ 7,000枚 「健康さっぽろ21」ホームページの充実 1,557千円 計 2,032千円			
達成目標の状況							
項目		18年度末(現状)	19年度末(実績)	20年度末(予定)	21年度末(予定)	22年度末(予定)	22年度末(目標)
健康づくり応援企業・店舗数(累計)		1,227件	1,475件	(未設定)	(未設定)	(未設定)	2,000件
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
市民との連携、市民参加等 ・各種健康教室・健康相談等の開催により参加した市民が正しい健康情報を得て生活に生かすことが期待できる。 ・地域・職域連携推進連絡会の開催により参加団体が各々もつ健康課題を共有し市民や職域の人々への健康づくり支援を効果的に進めることが可能となる。							
企業等との連携・協働 ・外食料理成分表示実施店を健康づくり応援団として市民に紹介し活用してもらうことが期待できる。 ・禁煙・完全分煙している企業・商店にステッカーを配布し、ホームページで紹介することで市民の受動喫煙防止対策を協働で進めることができる。							
市民・企業等が参加しやすい環境づくり ・地域での健康づくりを推進するリーダー養成研修会の開催により地域の健康づくりを進める人材が充実する。 ・「健康さっぽろ21」ホームページの充実により広く市民に正しい健康情報の提供が可能となり活用しやすい環境が整備されていく。							

## 平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	5-2-2		事業名	「健康さっぽろ21」推進事業		
評価(成果)			課題			
<p>科学的根拠に基づく健康情報をITを活用して幅広く提供することにより、健康に対する意識の喚起を継続的に行うことができ、疾病の発病を予防する一次予防の推進に寄与した。</p> <p>また、市民から健康づくりに関する意気込みを「宣言」で募集・公表することにより、宣言者の励みになるだけでなく、宣言をしていない市民に対しても健康づくりへの関心を高めることとなった。</p> <p>さらに、禁煙・完全分煙施設の募集・公表を通して市民の健康づくりに寄与したばかりでなく、企業・商店での健康づくりへの意識の高揚を図る効果があった。</p>			<p>19年度の間評価を踏まえ、「健康さっぽろ21」に掲げる目標の達成に向けて取組を強化することが第一の課題である。</p> <p>また、健康づくりの必要性の市民への普及にあたり、民間企業や関係団体と連携・協働して進めることも課題としてあげられる。</p> <p>国では、健康づくりに関する地域の団体や職域との連携を課題としてあげており、本市も同様の課題認識をし、「地域・職域連携推進連絡会」を平成19年度に立ち上げた。</p>			
今後の事業の予定・方向						
<p>後半の計画の推進に向けて「母子保健の推進」「生活習慣の改善」「健康づくりを支える環境づくり」を重要方針として定めるとともに、新たな目標の追加を行ったことから、平成20年度以降はこれらに基づき計画期間後半の推進を図っていく。ITを活用した健康情報の提供では、ホームページの充実による情報環境の整備を進め、「市民健康づくり宣言」「ここから健康づくり応援団」については、着実に参加者、参加企業等を増やすよう普及啓発に努めていく。また、地域・職域保健の連携による継続的な健康支援に取り組んでいく。</p>						
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	6,000	0	0	0	6,000
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0
		市債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	6,000	0	0	0
予算	事業費	6,000	2,032	-	-	8,032
	財源内訳	国・道支出金	0	0		
		市債	0	0		
		その他	0	0		
		一般財源	6,000	2,032		
実績	事業費	5,307	-	-	-	5,307
	財源内訳	国・道支出金	0			
		市債	0			
		その他	0			
		一般財源	5,307			
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				122.3%
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
(全体)						
[19年度]						
[20年度]						